

葉山町生ごみ分別収集実証実験（一色台地区）調査報告書【概要】

1 概要

収集頻度の比較検討を行うため「生ごみ週1回収集」と「生ごみ週2回収集」の検証結果を得るため、一色台地区を2地区に分けて実証実験を行いました。

期間：4月22日（月）から5月24日（金）まで

対象：一色台地区 116世帯（令和6年4月1日現在）

2 組成分析結果

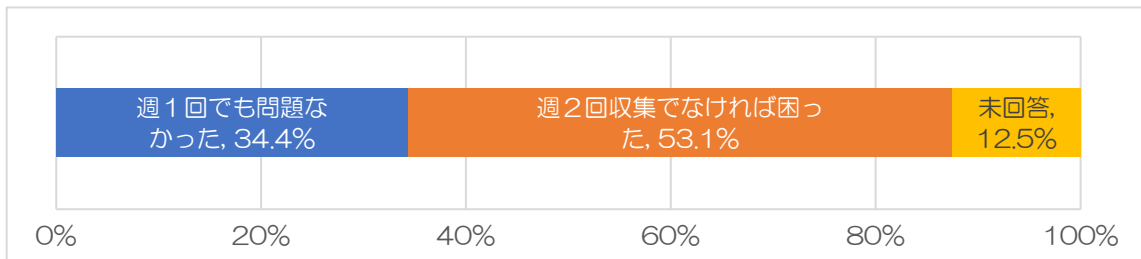
品目	生ごみ週1回収集	生ごみ週2回収集
生ごみ	-3.4%	+17.1%
燃やすごみ	+4.6%	-17.1%

実証実験前と比較し、「生ごみ」については、週1回収集では減少し、週2回収集では増加しました。

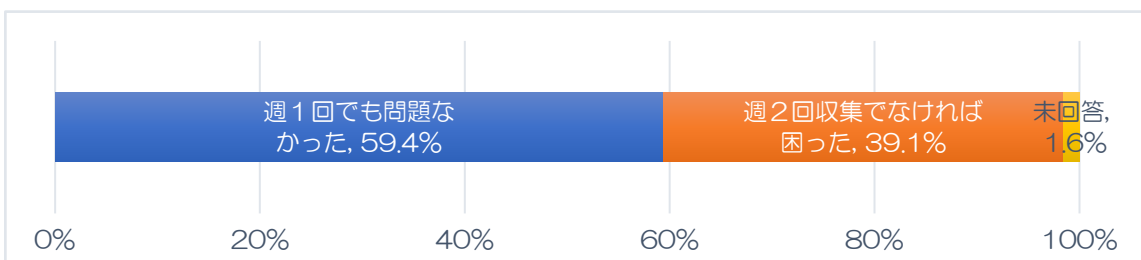
一方、「燃やすごみ」については、「生ごみ週1回収集」では増加し、「生ごみ週2回収集」では減少しました。

3 アンケート結果

生ごみの収集頻度について



燃やすごみの収集頻度について



4 考察

組成分析結果から「生ごみ週1回収集」では保管時の臭いや保管場所の確保ができず、生ごみを燃やすごみに混入して排出していることが伺えました。一方、「生ごみ週2回収集」では適切な分別が行われたと推測できました。

また、アンケート結果では、生ごみについて「週1回収集でも問題なかった」と回答した割合が34.4%となった一方で「週2回収集でなければ困った」と回答した割合が53.1%となりました。

燃やすごみは、「週1回収集でも問題なかった」と回答した割合が59.4%となった一方で「週2回収集でなければ困った」と回答した割合が39.1%となりました。

【参考】上山口・真名瀬・三ヶ浦・一色台地区実験結果

項目		上山口地区	真名瀬地区	三ヶ浦地区	一色台地区
年度		令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和6年度
区域		全域	希望者	希望者	全域
季節		10月～12月	6月～8月	11月～1月	4月～5月
生ごみの定義		人の口に入るもの (食べられるもの)	人の口に入るもの (食べられるもの)	人の口に入るもの (食べられるもの)	人の口に入るもの (食べられるもの)
排出方法 (下段は 結果)	袋	透明又は半透明	可燃ごみ：透明又は半透明 生ごみ：指定袋	透明又は半透明	透明又は半透明
	2重袋以上	可 (57%)	不可 (4%)	可 (73%)	可
	水切りネット	可 (13%)	不可 (2%)	可 (27%)	可
	ティーバッグ等	可 (10%)	不可 (6%)	可 (20%)	可
	未開封食品	素材ごとに分別 (3%)	素材ごとに分別 (0%)	素材ごとに分別 (0%)	素材ごとに分別
	水切り用新聞紙	不可 (3%)	不可 (2%)	不可 (0%)	不可
ごみ 排出量	生ごみ	0.110kg/日	週1回:0.104kg/日	0.151kg/日	週1回:0.102kg/日
			週2回:0.117kg/日		週2回:0.204kg/日
	燃やすごみ	0.143kg/日	0.136kg/日	0.146kg/日	生ごみ週1回地区： 0.267kg/日
					生ごみ週2回地区： 0.179kg/日
ごみ 排出量の 増減率	生ごみ	△17.9%	週1回:△8.8%	4.9%	週1回:△3.4%
			週2回:2.6%		週2回:17.1%
	燃やすごみ	△19.6%	△17.6%	△23.6%	生ごみ週1回地区： 4.6%
					生ごみ週2回地区： △17.1%
生ごみ 分別率	重量比	89.1%	93.6%	94.5%	93.6%
	数量比	79.1%	89.0%	90.6%	89.0%